

リレー回想



子育て支援活動を通して

中嶋 順子 (茂田井)

今日も児童館に町内各地より就園前の乳児、幼児がお母さんと到着、遊び喜んで玄関に飛び込んで来ました。館内は一瞬にして元気な子ども達の楽園、我が町の充実した子育て支援対策を基に開館された「子ども未来館」。ちびっこ広場事業の年間計画に基づき、私達厚生保護女性会員が厚生保護活動の軸である「子育て支援」を一環として託児のお手伝いをさせて頂いております。親同士の交流の場として、児童館の先生や保健師からのアドバイス等で座が盛り上がり、その間子ども達は私達おばあちゃんとおもちゃや絵本、いろいろな遊具で大勢のお友達と所狭しと遊び回り、時にはおもちゃの取り合い、ケンカ等賑やかに活き活きと目を輝かせて遊んでおります。

この児童館で思いつきり遊んだ子ども達が次は新装となった保育園へ、そして小学校へと健やかに成長される事を願うものです。厚生保護女性会員はこの活動を通して、お母さん達が安心して育児が出来る環境

づくり、安全な地域づくりを目指し、微かですが貢献出来ますことを胸にこれからも取り組んで参りたいと思います。終わりに、この活動は会員にとって世代を越えた若いお母さん、可愛い子ども達との楽しいふれ合いの場。何とも言えない至福の一時を過ごさせて頂いておりますことに会員一同感謝！感謝！です。



クラブ訪問

ときめき舞踊会

六川 竹子 (西塩沢)

ときめき舞踊会の生い立ちは、平成13年度の敬老の日で、3グループ(三部落 合同で21世紀音頭を踊ったときの反省をして、皆で合同練習の出来る場所が欲しいとの希望があり、社会福祉協議会に相談したところ、健康増進に繋がるならとのお返事をいただき、公民館活動の生涯学習の一環として平成14年4月「と

ときめき舞踊会」が誕生しました。老人福祉センターを使用し、指導者に町内在住の寺島每子先生にお願いしました。月2回、第1・2の木曜日(25年4月より第2・4の木曜日)午後1時から3時頃まで練習をしております。年に2回、3月の芸能グループ発表会、9月の敬老会に参加し、日頃の練習の成果を披露しております。

私も、舞踊は惚け防止に健康に良いからと友人に誘われて平成18年10月に入会させていただきました。舞踊は手足を動かす、日頃使わない筋肉、頭の体操で老化防止には最適かと思えます。また、仲間づくりを大切に練習して一汗流した後

は皆でお茶を飲みながら楽しく世間話に花を咲かせ、明日の元気の源として頑張っております。今年は大勢の若い入会者を迎え会員一同頑張っております。

舞踊の内容は主に民謡を中心に先生のやさしい指導で誰でも気軽に踊れますので時間がありません。お立ち寄りいただき、見学して一人でも多くの皆さんのご入会をお待ちしております。



編集後記

先月の三月三日に芸能グループ発表会が行われました。以前に比べると参加人数は少なくなりましたが、子供から大人までさまざまなグループに発表いただき盛況に終わりました。

三月三日といえば、桃の節句。地域によっては一ヶ月遅れの四月三日のところもあるようですが、桃の花の時期とすると三月はちょっと早い気がします。

流し雛を代表するように、その昔は人のけがれや災いなどを人形に移し、川や海に流して、災厄を祓うという風習がありました。その後、雛形として飾られた女の子の成長を祝う行事になったといわれています。桃の花は魔を除く花とされていたこともあり、桃の節句となったようです。(桃太郎の話もここからきているという説もあるようです。)

節句には季節の変わり目に旬の植物を食することで、生命の力を分けてもらい邪気を祓うという考えが中国から日本に入ってきて日本の生活に定着したものとされています。江戸時代に5つの節句が定められていたとされています。

5つの節句。桃の節句・端午の節句・七夕の節句は馴染みもあり、聞いたことあると思います。あと2つは？ 調べてみてください。

T・T